

第45号

発行
北九州地区
信徒使徒職協議会
会長 追立泰治
編集
北九州信徒協広報部
担当司祭 深堀勝人
担当委員 瀬下幸弘

カトリック

北九州地区

信徒協だより

News Bulletin for Catholic Believers' Association in Kita-Kyushu Area

主な内容

- 1面 司祭の皆さんと懇談会
- 2面 司祭の皆さんと懇談会
共同回心式日程
- 3面 年末街頭募金活動
聖書講座のお知らせ
- 4面 教区信徒協研修会
第17回平和の集い準備
編集後記

喫緊の課題を真剣に討議

明日の教会を考えよう

“具体的に、何を？ どのようにすれば？”

第十五回

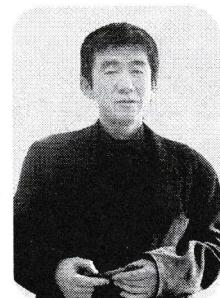
司祭のみなさんと信徒の懇談会開催

1月15日
小倉教会

テーマは昨年同様「明日の教会を考えよう」でしたが、さらに一步踏み込んで“具体的に、何を？ どのように？”が加わり、参加した三十数名（司祭五人を含む）は熱心に討議しました。

三人の発題からスタート

先ず、信仰育成部会担当の桑野貴巳子さんが「教会学校についてのアンケート結果表」をもとに発題。毎年開催される平和の集いやサマーキャンプなどに参加する子どもたちが少なくなっていることから、アンケートを行つたと言われました。結果表には教會学校に参加している子どもたち（幼稚～高校生）の数や教材、家庭との取り組みなどが示されており、最後に寄せられた感想を紹介しました（急



新田原教会の現状を語る牧山三好神父

十年前はシーグもあり、リーダー研修も盛んだったが、現状は子どもの数が少なくなっている点を新田原教会で実感していると語りました。月二回の教会学校も様々な理由からできないことがあることを示したいのに、子どもたち

激な少子化でいろんな行事が難しくなっていること。若いリーダーが育つてほしいこと。子どもを持つ世代の信者が少ないこと…等）。

続いて、新田原教会主任司祭の牧山三好神父が発題。二

三番目は門司教会の平松修實さんが「カトリック多摩教會で学んだこと」をレポートをもとに語りました。晴佐久神父が力をいれてきた教会内のユニークで様々なグループが集えるような工夫をしていました。

（第一グループ）・教会学校に対し昔（叱られた等）のイメージがあるのではないか。子どもたちが楽しくなるようにしている。（二面へ）

のないように切り開くかその対処されました。同時に教会学校が終わってもなかなか家に帰らず夢中になって遊ぶ子どもたちの姿を見て、「異年齢や他校の子たちとの触れ合いの場になつてているようだ。子どもの声が聞こえる教会ついてい

いな」と語りました。リーダーたちとの話し合いや保護者とのつながりを大切にしないがらも、堅信を終えた子たちが集まるよう工夫をしていました。今回初めての試みでした。が、三グループに分かれてテー

マに基づき、発題内容をヒントにして全員に語っていた

いただきました。

グループに分かれて討議

司祭のみなさんと信徒との懇

談会は十五回目を迎えまし

た。今回初めての試みでした

が、三グループに分かれてテ

ーに基づき、発題内容をヒ

ントにして全員に語っていた

だきました。

（第二グループ）

・教会学校に対する昔（叱ら

れた等）のイメージがあるの

では？ 子どもたちが楽しくな

るようとしている。（二面へ）



牧山勝美神父とマヘル神父が加わり熱心に討議！



明日の教会を語るにあたり、「何が問われているのだろう」と語る平松修實さん。

(1面続き)



第2グループはペリオン神父参加。
「共に」がキーワード。

- ・教会に来ている子どもたちへの接し方が重要と思う。
- ・様々なグループは有るが新しく教会に来た方が入りにくい雰囲気があり工夫が必要。
- ・複雑化した組織のスリム化を行い、その後に新しいグループができたりした。
- ・堅信後の子どもたちに役割や使命感を持たせることが重要ではなかろうか。
- ・幼稚園と教会がつながりを持つことも大切では。
- ・司祭が代わっても小教区のことはしっかりとやつていく。
- ・もつともな意見ばかりだ。あとは具体的にやつしていくしかないのではないか。
- ・神様が何を望んでおられるかをしつかり考えよう。

- （第二グループ）
- 福音を中心として開かれた
 - ・もつともな意見ばかりだ。
 - ・神様が何を望んでおられるかをしつかり考えよう。

- （第二グループ）
- 福音を中心として開かれた
 - ・プロテスタント教会では必ず声をかけてもらえる。信徒数減についてはカトリック教会とほぼ同じようで苦心しているが地域に根付く教会作りを目指している点は、同じ。

- （第二グループ）
- 福音を中心として開かれた
 - ・もつともな意見ばかりだ。
 - ・神様が何を望んでおられるかをしつかり考えよう。

- （第二グループ）
- 福音を中心として開かれた
 - ・もつともな意見ばかりだ。
 - ・神様が何を望んでおられるかをしつかり考えよう。

- （第二グループ）
- 福音を中心として開かれた
 - ・もつともな意見ばかりだ。
 - ・神様が何を望んでおられるかをしつかり考えよう。

北九州地区信徒協だより

- ・教会に来ている子どもたちへの接し方が重要と思う。
- ・様々なグループは有るが新しく教会に来た方が入りにくいい雰囲気があり工夫が必要。
- ・複雑化した組織のスリム化を行い、その後に新しいグループができたりした。
- ・堅信後の子どもたちに役割や使命感を持たせることが重要ではなかろうか。
- ・幼稚園と教会がつながりを持つことも大切では。
- ・司祭が代わっても小教区のことはしっかりとやつていく。
- ・もつともな意見ばかりだ。
- ・神様が何を望んでおられるかをしつかり考えよう。

- （第二グループ）
- ・子どもが少ないというよりも持つ親が来ていないので本当ではなかろうか。
 - ・役員のなり手がない状況がある。何を求めて教会に集うのかをもう一度振り返ることが必要。街頭募金などやりたがらない風潮がある中で、一步踏み出せば開けてくると思ふのだが。

- （第二グループ）
- ・月一回の教会学校ですら危うい時も。親が信仰をどう思っているのだろうか、もう一度向き合う必要があるように感じる。大切な事は？
 - ・アンケートを集め約する中でリーダーの苦労も伝わってきた。子どもたちに関わることで自分の成長へつながった喜びもある。
 - ・昨年までは、教会の現状を出し合つてきただが、今回は現状から一步踏み出し、具体的に何かを始めようと思う。
 - ・問題は数多くあります。互いに信頼しあつて活動することが大切。東日本大震災被災地へ子どもたちを連れて行っている。後ろ向きになると教会活動が停滞してしまう。
 - ・司祭の異動による司牧スタイルの違いが見えるが、司祭と信徒の意思疎通を図るのがポイントではなかろうか。
 - ・子どもに声かけをする。来ない信徒に教会の（3面）

教会が今もつとも求められているのではないか。

・聖堂の建て直しを検討中。

建物としての聖堂と靈的な聖堂の両方を見据えた考えがあると思う。



第3グループは深堀勝人神父と牧山三好神父が参加。課題をどう克服？

四旬節 共同回心式日程

日付	教会名	時間
3月15日(水)	新田原	10:00,19:00
3月16日(木)	小倉	10:00,19:00
3月17日(金)	水巻	10:00,19:30
3月21日(火)	行橋	11:00,19:30
3月22日(水)	豊津	— 19:30
3月24日(金)	戸畠	10:00,19:00
3月24日(金)	門司	11:00,18:30

日付	教会名	時間
3月25日(土)	直方	10:30,19:00
3月27日(月)	黒崎	10:30,19:00
3月28日(火)	天神町	11:00,19:00
3月29日(水)	湯川	10:30,19:30
3月29日(水)	田川	10:00 —
3月31日(金)	若松	— 19:00



動きを知らせるこどもができる
と思う。どこかで教会とつな
がっていることを伝えられる
ようになります。
・子どもがいることが希望。

追立会長より



十五回目となつた懇談会、
いかがでしたでしょうか。こ
うやつてみなさまが集つてく
ださつたこと、熱心に討議し
てくださつたことに感謝致し
ます。具体的に「何をどのよ
うにすればよいのでしょうか」
の問い合わせのヒントが見えま
したでしようか。報告にもあ
りましたように、司祭と信徒
の意思疎通を計る、理解し合
うことを根底にしながら、弱
い人の側に立つこと、神の慈
しみを私たちはいつも心にお
いていきたいと思います。そ
して司祭の皆さんと私たち信
徒が、共に共同体としてこれ
からも歩んでいくことが大切
だと思っています。ありがと
うございました。

2016年 北九州地区 年末愛の募金活動 集計報告

※金額の内訳は、教会内募金額と街頭募金額の合算です。詳細は会議報告書に掲載しています。

9教会総計 1,113,395円 (2015年は1,070,736円)		
教会	金額	送金先
門司	279,652 (街頭募金額 189,120円)	カリタス福岡・ 熊本地震支援センター 美野島司牧センター
湯川	129,255 (街頭募金額 26,248円)	抱樸(ホームレス支援) 聖マルティンの家(ボリビア)
行橋	171,609	カリタス釜石 Mの会 中津聖ヨゼフ寮
豊津	(街頭募金と ミニバザー含)	みやこ町社会福祉協議会 行橋市社会福祉協議会 エルピス会 教区熊本支援
天神町	25,000 (教会内募金)	東チモール奨学金プログラム 聖イグナチオ学院基金 NPO抱樸(北九州ホームレス)
小倉	118,563 (街頭募金と 教会内募金)	カリタスジャパン 北九州いのちの電話
新田原	227,624 (街頭募金額 87,300円)	東チモール(聖母訪問会) ペルー(イエスのカリタス修道女会) 築上町社会福祉協議会 熊本地震被災地(教区事務局)
水巻	55,007 (街頭募金と 教会バザー)	熊本西原村農業復興 ボランティア 西原村 百笑応援団
戸畠	82,603 (街頭募金額 57,000円 聖堂募金額 24,588円 天使園募金額 1,010円)	北九州いのちの電話 戸畠区社会福祉協議会 ホームレス支援事業 カリタスジャパン(熊本を主)
若松	24,082 (教会内募金)	カリタスジャパン

聖書部会からおしらせ

【年間テーマ】

近づいて来られるイエスを知り、 イエスと出会う

~福音書をとおして典礼季節と共に~

第2回 4月30日(ベリオン神父)
イエスの復活の証言をとおして

第3回 6月25日(牧山勝美神父)
イエスが話されたたとえ話をとおして

第4回 9月24日(山元 真神父)
イエスの不思議なわざをとおして

聖書週間 11月19日
未定(聖週間のテーマによる)

開催場所:カトリック小倉教会
開催時間:14時~16時30分
参加費:無料

街頭募金、工夫あれこれ

- 新田原は、ミサ後から12時くらい行う。たくさんの子どもが参加し、大声で呼びかけた。
- 門司は、活動に参加する人が増えている。商店街の人が、近くの商店に声かけなどをしてくれたりする。昼食は教会で作り、募金場所近くの食堂が昼食場を提供してくれる。街頭募金時期は年金支給日などを考慮し決める。
- 行橋は、母親達が昼食を作り、食べて午後1時からいく。商店前での活動は、店長に挨拶する。お客様と摩擦をおこさないことがベストと思う。
- チラシ裏面に昨年度の実績や支援先、クリスマスやミサの案内を掲載している。(湯川・小倉)
- 水巻は支援先をパネルにしている。今後は人通りの多い所を選びたい。

ご案内

東日本大震災 [2011.3.11.14:46]

被災地「音楽と祈りの夕べ」(第74回)

日時:3月12日(日)

16:00~17:00

場所:カトリック小倉教会聖堂
無料 ★募金あり

◆ 曲 目 ◆

《サクソフォーンとマリンバ》

- ラフマニノフ ヴォカリーズ
- A.W.モーツアルト トルコ行進曲 他
- 《オルガン》
- J.S.バッハ 前奏曲ホ短調 BWV548
- L.ベートーベン ソナタOp.13の2樂章

《歌》

- ラウダート・シ(宇宙の賛歌) 他
- オルガン/宮崎裕之 マリンバ/木下昌子
- サクソフォーン/寺田孝司 歌/綾部勤子



基調講演の
Sr.マリア・コラレス
(聖母被昇天修道会)

「見て、聞いて、知つて、働く」
2月11日は今年最大の寒波により雪が舞い、交通機関にも支障が出たにもかかわらず200名以上の参加者を迎えた、地区を越えて多くの方々の交流がうまれました。

基調講演でSr.マリア・コラレスは、釜ヶ崎でのホームレスの方々との出会いから「聖書は説明することではなく生きることと教えられました。福音はすべての人になり、人が大切にされる社会が神の望みです」と話され、「政治や経済によって苦しむ人がいたら良くなるように働きます。その社会活動をイデオロギーう」と言されました。そして

北九州地区信徒協だより

福岡教区
信徒使徒職協議会
研修会

「福音と平和のつどい」

カトリック大名町教会

いのちを大切にする社会をめざして

「見て、聞いて、知つて、働く」

2月11日は今年最大の寒波により雪が舞い、交通機関にも支障が出たにもかかわらず200名以上の参加者を迎えた、地区を越えて多くの方々の交流がうまれました。

出エジプト3:7を引用されし、「神は人の苦しみに共感し、駆けよってともに在る」、ここに神の救いがあり、「福音の本質がある」と語られました。

また、日本国憲法にも言及され前文の、「全世界の国民がひとしく恐怖と欠乏から免

れ、平和のうちに生存する権利を有する」という平和的生

存権は、「まさに福音そのものであり、改憲が呼ばれるなか決して手放してはならないもの」と語られました。

午後には8つの分科会（憲法・原発・障がい者・子どもたちの貧困・死刑廃止・外国籍移動労働者・講師を囲んで・反ヤスクニ）があり、参加者は命を大切にする社会について「見て、聞いて、知つて」を分かち合い、ミサに集つて各分科会の祈りを共同祈願で捧げました。

社会福音部会からおしらせ

2月19日(日)カトリック湯川教会に22人が出席して

〈岩本ナセ〉

第17回北九州平和の集い 第1回実行委員会を開催

開催日:2017年8月6日(日)



「だれもが平和の作り手になれるのです」

=愛の反対は憎しみではなく無関心です(マザー・テレサ)=

実行委員長は
大庭英樹さん
(戸畠教会)

【確認されたこと】

第1部 (午前) 平和祈願ミサは地区全教会。「平和のための祈り・共同祈願」は、典礼部会担当。

第2部 (午後) 平和の集いを小倉教会で。

11時30分～開場

①いのち・ホームレス支援
(メイン講師) / 未定

②貧困・村松泰隆神父

③平和コント・キリスト者九条の会

（各担当）
・小倉教会全般→北川さん
(音響、その他)

・テント設営→実行委員会、ダルクの方々、小倉教会、

・子どもの広場→信仰育成部会

・出店(テント)→藤瀬さん窓口に

・社会福音部会と準備。

・聖堂内進行→深堀神父、大庭さん、追立さん、井本さん、他

・司会→丸木さん

・会計係→平田さん、岩永さん、他(司祭館応接室)

・救護係→看護協会、協力医師

・聖堂入口左部屋)

・お茶とカレー→小倉教会の皆さんに協力依頼。

次回実行委員会
5月14日(日)14時～湯川教会

* 「過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことですね。(教皇パウロ2世) 私たちもそれに応えねば。司祭の皆さんとの懇談テーマを昨年と同じにし、具体的に何を、どうすれば」というサブテーマを加えました。懇談の資料として①教会学校アンケート結果。②カトリック多摩教会で晴佐久昌英神父から学んだこと。

が提供され、それらは明日の教会を考える上で貴重なものだと感じました。それを読みながら2002～03年の研修会を思い出しました。「教会離れの対応」「小教区ではできない研修や聖書講座」「社会問題への積極的姿勢」「教会学校リーダー研修と子どもたちが地区で集まり学ぶ必要」「信徒の手による典礼奉仕」「司祭と信徒の交流」…それから14年。実行されたこと、未達成な課題の両方が見えます。今回の討議だけでは解決できませんが、今後は各自が将来に対する責任を担っていく自覚を持ち、さらに議論を深めていかれることでしょう。(瀬下)

編集室の窓